

医療費通知にご注意

健康保険組合などからの医療費の通知を装い、ウイルスを仕込んだメールが企業の従業員らに送られていることが8日、情報セキュリティ研究会などへの取材で分かった。感染するとパソコン(PC)が遠隔操作される可能性があり、自治体などが注意を呼び掛けている。

情報セキュリティ大手トレンドマイクロによると、メールは健康保険組合事務局などを装い、件名に「医療費通知のお知らせ」などと記載。9月ごろから確認され始めた。マイクロソフトの文書作成ソフト「ワード」に偽装したファイルが添付され

健保メール装いウイルス

ている。ファイルを開くと不正プログラムが働き、ウイルスに感染。外部からPCを遠隔操作される恐れがあるという。

東京都荒川区では9月下旬、区内に住む国民健康保険加入者の男性から、「医療費を知らせる不審なメールを受け取った」と通報があった。区は「医療費の通知は郵送で行っており、メールで知らせることはない」と警告する。トレンドマイクロは「年末調整などが始まり医療費に関心が高まる時期を狙っている」と指摘している。